

第1回ドローン産業研修

災害発生時におけるドローンの活用
～ HecEye を活用した多地点映像中継システム～

地震や豪雨など、大規模災害におけるドローン活用する取り組みが進んでいます。現地では被災状況の把握や被災者の捜索が急務であり、ドローンの特長である「機材が安価・操縦が容易・高精細映像を撮影・低空飛行」は、有力な手段として期待されています。

今回の研修では、協議会連携パートナーである「一般社団法人救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会(EDAC)」、ならびに佐伯市消防本部のご協力により、株式会社リアルグローブが展開する「HecEye」の現地デモ、および座学を開催します。現地デモは実証実験スタイルにて開催、災害発生現場の想定地をドローンが実際に飛行、複数の映像を多人数・リアルタイム中継、救助活動の指揮系としての効果を検証します。座学では、現地デモの結果を紹介しつつ、災害発生時のドローン活用について、現状の技術と今後の展開について解説します。災害・防災の関係者、その他、災害関連事業にご関心ある方々のご受講をお待ちします。

実証実験（現地デモ）

- 日時：8月3日(金)10～12時
(雨天時は9日(木)へ順延)
- 場所：佐伯市***（現地集合）
(概要) 大地震による大津波が発生、佐伯市内が津波被災、土砂災害現場上空をドローンが飛行、HecEye多地点中継による捜索・指揮活動を実証実験形式でデモ。

座学（名刺交換会・個別相談会）

- 日時：8月10日(金) 10:00～12:00
- 場所：産業科学技術センター（第1研修室）
 - 災害発生時におけるドローン利用の現状
 - Hec-Eyeの特長と実績
 - 佐伯デモの結果概要
 - 南小国町での事例
 - 救急・医療・災害でのドローン活用の今後

- 講師：EDAC
- 受講料：無料
- 定員：各回40名

共催：一般社団法人EDAC（株式会社リアルグローブ） 協力：佐伯市消防本部

「第1回ドローン産業研修」受講お申込み

下記ホームページからのお申込みください。ホームページへのアクセスが難しい方は、FAXにて「貴社名・部署名・参加者お名前」をお知らせください。

お申込み〆切：開催前日の正午まで

大分 ドローン協議会

検索

<http://drone.oita-ri.jp/341>

お問合せ先：大分県ドローン協議会事務局（大分県産業科学技術センター内）
高木（秋本・幸） 電話：097-596-7100